

# 患者の皆様へ

令和5年8月22日  
消化器内科

現在、消化器内科、食道胃腸外科では、「バレット食道におけるAI診断システム開発」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では平成12年4月から令和4年12月の期間にバレット食道癌と診断された患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「バレット食道におけるAI (artificial intelligence)を用いた内視鏡診断システムの開発」

2. 研究の意義・目的 バレット食道癌の早期発見を可能とするため、AIを用いた内視鏡診断システムを開発する事を目的としています。

3. 研究の方法 平成12年4月1日から令和5年7月31日の間に、食道癌と診断された患者さんの内視鏡画像をAIに学習させます。またAIには診療録に記載されている食道癌の部位と病理結果を併せて学習させます。研究に用いられる画像は、電子カルテ上に保存されている食道癌画像のみを使用し、使用する病理結果は、組織型と癌の浸潤の程度です。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名・年齢・性別を削除し特定の個人が容易に識別できないように加工して利用します。研究用のIDを付与し、IDと氏名を一致させるための対応表を作成します。対応表は、消化器内科学教室の研究室にて厳重に保管されます。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院消化器内科学教室研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 5. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータは研究代表機関のドイツ アウグスブルグ大学消化器内科へ電子データとして送られAIの学習用画像としてAIシステムの開発に利用されます。対応表は、当科の研究責任者が保管・管理します。

## 6. 研究組織

千葉大学医学部附属病院 消化器内科 松村倫明 沖元謙一郎

千葉大学医学部附属病院 食道胃腸外科 上里昌也 荒澤孝裕

アウグスブルグ大学病院 消化器内科 Helmut Messmann, Alanna Ebigbo

Ostbayerische Technische Hochschule (OTH) Christoph Palm

## 7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院消化器内科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院消化器内科

**医師** 松村倫明

**043 (222) 7171 内線5241**

**研究代表機関** : ドイツアウグスブルグ大学病院 消化器内科

**研究代表者** : 医師 Helmut Messman

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています